

マルチメディア資料集 「高崎歴史探検隊」の作成

— 地域に残る史跡・文化財に着目して —

情報教育・ICT活用班 木村 達也（小学校教諭）

主題設定の理由

歴史の学習における6年生児童の実態
体験や見学ができないことがある。
学習内容と地域の歴史とのかかわりに気付かない。

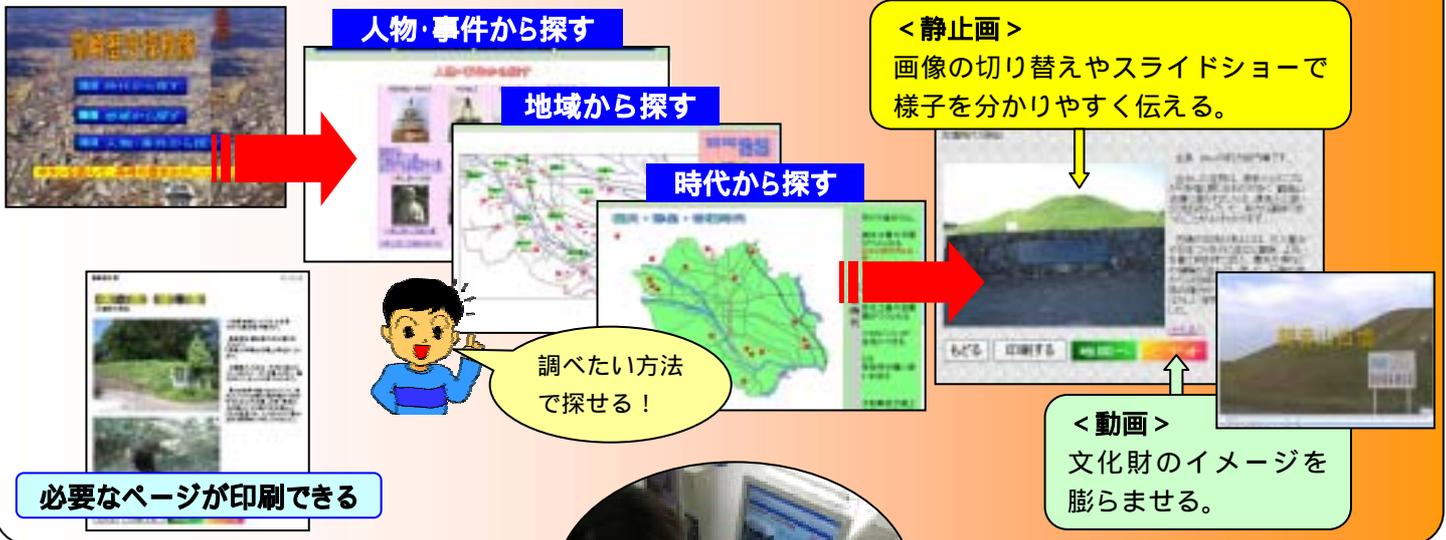


見学や調べ学習をしたいけど...
文化財がどこにあるかわからない。
調べやすい資料が少ない。

「高崎歴史探検隊」の概要

Web形式の教材で、くり返し使える
3つの検索方法で調べることができる

文化財の場所を見つけやすい
静止画、動画が見られる



授業で活用

見学の計画作りや事前調査で活用

調べ学習・見学で活用



解説を見て、事前の調査をする。

年表を見て、日本の歴史と比較する。

地図を見て、場所の確認をする。

調べ学習で解説を参考にする。

いつも見ていた石碑のことだ！
おばあちゃんちの近くだ。行ってみよう！
これって、文化財なんだね。

まとめの活動で写真や地図を活用する。

地域と日本の歴史とのかかわりを考え、学習内容がより深まる。

成果

普段見ていたものが歴史上大切なものであるということに付き、**地域の文化財に対する興味・関心が高まった。**
日本の歴史と地域の歴史とのかかわりに気付く児童も出てきた。

課題

取り上げる文化財をさらに増やし、資料の充実を図る。
より分かりやすい表現の工夫や動画を整備し、さらに使いやすいように教材を改善する。